

ELシリーズでお使いの場合

AUTO (オート) データを使用する場合

操作手順の見方

機種	操作手順	メモリー チェンジ	レジスト個数 /使用SONG
EL-900m/900/900B EL-700/500/400/200 (MEMORY <input type="checkbox"/>) EL-90*/87*	SONG 01 →  1		SONG 01 (1個)

* 必ずエクスペッションペダルのコントロールを“INT.(インターナル)”に切り替えてください。

4

2


3

1 矢印に従って操作をしましょう。





記号の見方



① MDRの^{ソングセレクト}「SONG SELECT」ボタンで、ディスプレイを表記のSONGの数字(この場合は01)に合わせます。

② ^{プレイ}「PLAY」ボタンを押します。
ディスプレイに  が走り、SONG 01のレジストレーション・データがエレクトーン本体にセットされ、自動的にリズムがスタートします。

2 自動的にメモリーが切り替わることを示しています。

EL-500/400/200のレジストレーション・メモリー・ボタンは^{MEMORY}  ~ ^{MEMORY}  の8個ですが、レジストレーション・データの「再生」は^{MEMORY}  ~ ^{MEMORY}  の16個分が可能です。

3 使用するSONG NO.とSONG数を示しています。

④ EL-90/87の場合のみ、エクスペッションペダルのコントロールを^{インターナル}INT.に切り替えることを示しています。(操作方法は次頁参照)

EL-900m/900/900B/700/500/400/200の場合は、自動的に切り替えが行われますのでこの操作は不要です。

SONGを「2個以上」使用する場合

■ EL-900m/900/900B/700/500/400/200……操作は一切不要です。次のSONGのレジストレーション・データは、自動的にエレクトーン本体にセットされます。

ただし演奏を始める際は、MDRの^{カスタムプレイ}「CUSTOM PLAY」ボタンではなく、必ず「PLAY」ボタンを押してください。

■ EL-90/87……楽譜中の指示に従って、MDRを操作してください。

再度同じ曲を演奏するには

● SONG「1個」の場合

カスタムプレイ
「CUSTOM PLAY」ボタンを押します。

自動的にリズムがスタートしますので、演奏を始めましょう。

● SONG「2個以上」を続けて使用する場合

MDRのディスプレイを「1個め」のSONGの数字に戻して、必ず「PLAY」ボタンを押します。

EL-900m/900/900B/700/500/400/200の場合は、自動的にリズムがスタートしますので演奏を始めましょう。

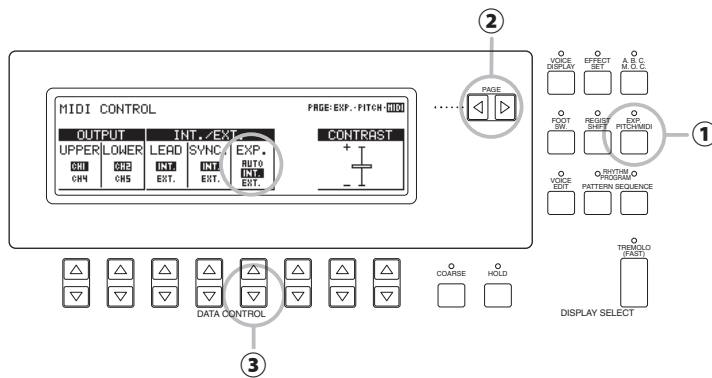
EL-90/87の場合は、楽譜中の指示に従ってMDRを操作してください。

エクスプレッションペダルのコントロール切り替えの方法 (EL-90/87のみ)

EL-90/87でFDオートを使用して演奏する場合は、エクスプレッションペダルを「INT.」(ON)状態(自分で操作できる状態)にするために、以下の操作が必要です。



この操作をしないで演奏すると、音量はあらかじめフロッピーディスクに収録されている大きさとなり、エクスプレッションペダルを動かしても音量を変えることはできませんのでご注意ください。



- ① エクスプレッション ピッチ ミディ 「EXP./PITCH/MIDI」ボタンを押します。
- ② ページ 「PAGE」ボタンを押して、ミディ コントロール MIDI CONTROLの画面にします。
- ③ データ コントロール 「DATA CONTROL」ボタンを押して、インターナル エクスターナル エクスプレッション インターナル INT./EXT.のEXP.をINT.にします。







EL-900m/900/900B/700/500/400/200では、自動的にコントロールがインターナル INT.に切り替わります。

ディスプレイはオート AUTOのままですが、エクスプレッションペダルを自分で操作できる状態になります。

ELシリーズでお使いの場合

AUTO (オート) データを使用しない場合 (AUTO 「不可」)

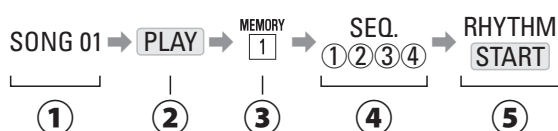
操作手順の見方

機種	操作手順	メモリーチェンジ	レジスト個数 /使用SONG
EL-900m/900/900B EL-700/500/400/200 () EL-90*/87*	SONG 01 →  →  →  →  1	 レジストシフト	SONG 01 (1個)


* エクスプレッションペダルのコントロール切り替えは「不要」です。

1 矢印に従って操作をしましょう。

記号の見方



① MDRの「^{ソングセレクト}SONG SELECT」ボタンで、ディスプレイを表記のSONGの数字(この場合は01)に合わせます。

② MDRの「^{プレイ}PLAY」ボタンを押します。
ディスプレイに  が走り、SONG 01のレジストレーション・データがエレクトーン本体にセットされ、自動的にリズムがスタートします。

③ 曲のはじめのメモリーボタン(この場合は ) を押します。

④ パネルの「^{リズム}RHYTHM」セクションの「^{シーケンス}SEQ.」ボタン「SEQ.①」～「SEQ.④」を押します。
★楽譜中にリズムシーケンスの切り替わる位置を記載しています。部分練習をする場合に活用してください。

⑤ パネルの「^{リズム}RHYTHM」セクションの「^{スタート}START」ボタンを押します。
「SYNCHRO START」とある場合は、「^{シンクロスタート}SYNCHRO START」ボタンを押します。

2 自動的にメモリーが切り替わらないことを示しています。



曲中のレジストレーションは、エクスプレッションペダルの右側のスイッチ(右フットスイッチ)を押すことで、楽譜のメモリーナンバーどおりに切り替えることができます。

なお、EL-500/400/200の場合も、 以降のレジストレーション・チェンジを行うことができます。

3 使用するSONG NO.とSONG数を示しています。

4 エクスプレッションペダルのコントロール切り替えは不要であることを示しています。



 (オート「不可」マーク)がある場合は、 ボタンを押してもリズムはスタートしません。



場合によっては、「手押し」でメモリーチェンジしてください。

SONGを「2個以上」使用する場合

- EL-900m/900/900B/700/500/400/200……楽譜中の^{NEXT}■(ネクストソング・マーク)のタイミングで、右フットスイッチを押してください。次のSONGのレジストレーション・データがエレクトーン本体にセットされます。
- EL-90/87……楽譜中の指示に従って、MDRを操作してください。

再度同じ曲を演奏するには

●SONG「1個」の場合

■EL-900m/900/900B/700/500/400/90/87

- 1) エレクトーン中央のディスプレイ右横の「REGIST SHIFT」ボタンを押します。
- 2) 「PAGE」ボタンで、「EDIT」ページにします。
- 3) EL-900m/900/900B/700/500/90/87の場合は「↑」を「TOP」の位置に、EL-400の場合は「■」を「T」の位置に戻して、演奏を始めます。

■EL-200……前頁①の②の操作から、もう一度行ってください。

●SONG「2個以上」を続けて使用する場合

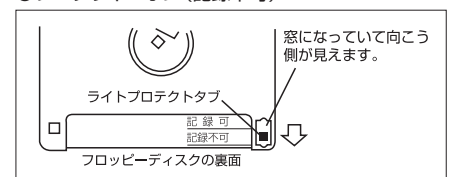
MDRのディスプレイを「1個め」のSONGの数字に戻して、必ず「PLAY」ボタンを押します。その後は①の③以降の操作手順に従ってください。

フロッピーディスク使用上の注意

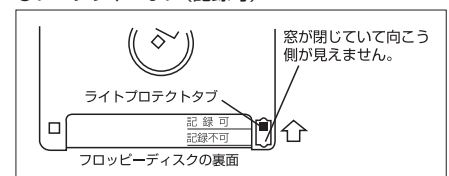
- フロッピーディスク(以下、FD)は、ミュージックディスクレコーダー(以下、MDR)に挿入したままの状態でご使用ください。
- 通常の演奏をする場合は、FDの「プロテクトタブ」は「プロテクト・オン(記録不可:ライトプロテクトタブ下側)」になっていることをご確認の上、ご使用ください。
- EL-900m、900、900B、700、500、400、200以外の機種をご使用の際は、フォーマット(初期化)をしないようご注意ください。
- MDR作動中は、絶対にFDを取り出さないようにしてください。
- エレクトーンの電源を切るときは、FDは必ずMDRから取り出してください。
- FDを取り扱う際、シャッター部分には手を触れないようにしてください。
- FDを保管する際は、以下の点にご注意ください。
 - 湿気やホコリの多い場所には保管しないでください。
 - テレビやスピーカーなど、磁力の影響を受けやすい場所には置かないでください。
 - 直接日光が当たる場所や、高温になる場所に放置しないでください。
- FDデータの読み込みが上手くいかない場合は、MDRのヘッドをクリーニングしてください。

品質不良、あるいは製造上の原因による場合以外、お客様の操作上に起因するデータのトラブル等に関しましては、交換、返品などの対応は致しかねます。また、曲集付属フロッピーディスク(Muma販売のフロッピーディスクを含む)を使用中に発生した楽器の故障・修理につきましても対応致しかねますので、ご了承ください。

●プロテクト・オン(記録不可)






●プロテクト・オフ(記録可)

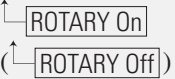





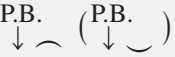
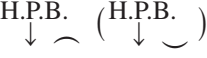
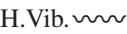


曲集用語・記号一覧

名称に関するもの

U.K.	上鍵盤/上鍵盤ボイス
LEAD	リードボイス
L.K.	下鍵盤/下鍵盤ボイス
P.K.	ペダル鍵盤/ペダル鍵盤ボイス
TO LOWER	トゥーロワー
ACC.	アカンパニメント
A.B.C.	オートベースコード/カスタムA.B.C.
M.O.C.	メロディオンコード
Lower Rhythmic	ロワーリズムック [ELS-01C/X・01、EL-900m~200のみ]
Lower Memory	メモリー(下鍵盤)
Pedal Memory	メモリー(ペダル鍵盤)
I.T.	イニシャルタッチ
A.T.	アフタータッチ
A.P.	アフタータッチ(ピッチ)
P.B.	ピッチベンド
H.P.B.	水平タルタッチピッチベンド
H.Vib.	水平タルタッチビブラート
r.h.	右手
l.h.	左手
r.f.	右足
l.f.	左足
SEQ.	シーケンス
REG.SEQ.	レジストレーションシーケンス S
	オートマーク E
	オート不可マーク E
	ネクストレジスト S ネクストソング E
	ネクストソング+ ^{プラス} [EL-900mのみ]
S.E.	サウンドエフェクト(効果音)
K.B.P.	キーボードパーカッション
MDR	ミュージックデータレコーダー S ミュージックディスクレコーダー E
2nd Exp.	セカンドエクスプレッションペダル

奏法に関するもの

<i>glide</i>	左フットスイッチでグライドをかける
	左フットスイッチでロータリースピーカーをOn(Off)する S
	左フットスイッチでトレモロ(ファースト)をOn(Off)する E
└S.----	ニーレバーを右に押ししてサステインをかける
└KNEE (M.O.C.)----	ニーレバーを右に押ししてM.O.C.をかける
└KNEE (SLIDE)----	ニーレバーを右に押ししてスライドをかける
└KNEE (SOLO)----	ニーレバーを右に押しするとリードボイス2以外のU.K.の音群が発音し、元に戻すとソロ機能によりリードボイス2の音色のみが発音する
I.T. (<i>p</i>)	イニシャルタッチを弱く
I.T. (<i>f</i>)	イニシャルタッチを強く
A.T. 	後から鍵盤を強く押す*
A.T. 	鍵盤を押さえていた力を抜く*
A.P. 	後から鍵盤を強く押して音程をコントロールする S
A.P. 	鍵盤を押さえていた力を抜いて音程をコントロールする S
P.B. / (P.B. \)	2nd Exp. を用いて音程を上げる(下げる)
H.P.B. / (H.P.B. \)	水平タルタッチを用いて音程を上げる(下げる)
P.B. 	2nd Exp. を用いて、↓の付いている音を押さえ、へ、こで指示された音程を発音させる
H.P.B. 	水平タルタッチを用いて、↓の付いている音を押さえ、へ、こで指示された音程を発音させる
H.P.B. (↑)	水平タルタッチを用いてxの音を目標に発音させる
H.Vib. 	水平タルタッチを用いてビブラートをかける
その他	
(N.C.)	コード表記なし(ノーコード)

S = STAGEAのみ **E** = ELのみ

*水平タルタッチ、ソロ機能に関する事項は、ELS-01C/X、EL-900m/900/900Bのみが対象です。

※P.K.のA.T.は、ELS-01C/X、EL-900m/900/900B/700/90/87のみかかります。